

ゼロアップセンター アンビアン便り 9月 2010年

徒然なるままに……

最近、嬉しいニュースがありました。龍村仁監督の映画、地球交響曲(ガイアシンフォニー)第七番にホリスティック医学協会顧問で、私の大好きなアンドリュー・ワイル博士(アリゾナ大学医学部教授)が出演されています。ガイアの「心」・自然治癒力～生かされる命の響き～がテーマのようです。私が生活習慣病予防指導士として関わっている、ホリスティック医学協会はこの映画の協賛団体として応援しています。私もほんの気持ちですが協賛させて頂きました。地球交響曲は全国で、全て自主上映です。まだ映画は見ていませんが、皆様と御一緒に見られれば嬉しいです！<尚、ワイル博士の『癒す心 治す力』はアンビアンの“これいいよ”に載せている推薦図書です>

さて、ホリスティック医学協会といえば、同協会会長の帯津良一先生の「人間まるごと」です。<アンビアン便り2010年1月号：「ホリスティック医学は「人間まるごと」の医学」を合わせてご覧頂ければ幸いです> 帯津良一先生はサトルエネルギー学会の会長でもあります。

「見えない意識」と、「見える現象」をつなぐサトルエネルギー-

サトルエネルギー学会(寺山心一翁理事長)は物質や生体のもつ微細エネルギーを研究し、からだ、こころ、いのちまで含む「人間まるごと」の理解を深めようとしている団体です。寺山理事長は末期がんで死を覚悟で退院し、自然退縮させた方。「ガンさん、愛してる！」この魂の叫びが私の人生を変えた！と世界でサトルエネルギーの講演をされています。

学会理念はあらゆる生命体は繋がりがあ、宇宙という大きな場の中で生かされている。人間の生命エネルギーは、自然のもつ純正さと触れ合い、真我に目覚めた時、それは輝きある聖なる力に変わる。それがサトルエネルギーであって、その力は繋がりにある全ての「いのち」に与える癒しのエネルギーに変わる。愛と感謝と調和の力がサトルエネルギーの本質である。

サトルエネルギー(Subtle Energy)とは、「ほのかな、かすかな、見えないエネルギー」のことです。日本では気功、アロマテラピー、レイキなど新しくもあり、実は古代から営々と伝わる様々な癒しの技法もあります。欧米ではこうした世界をひと括りして、「サトルエネルギー」と言って、いまや日常語。アメリカではこの用語をインターネット検索すると、なんと5~6万件も出てきます。肉体の外側のエーテル体も眼では見えませんので、諸外国の方は「Subtle Energy Bo

dy」と呼ぶ方もいらっしゃいます。アメリカでは1987年にエルマー・グリーン博士創設のサトルエネルギー学会(ISSSEEM)が存在します。それはサトルエネルギーに関する学者や研究者が集まる組織として世界的にも知られています。

日本のサトルエネルギー学会の名付け親は、初代会長の東京大学名誉教授・大島正光博士で、1995年に発足しました。様々な波動をエネルギー論としてとらえ、海外の表記との統一を図りました。現在では「人間丸ごと医療」を世界にも提唱されている帯津良一医学博士が会長を引き継いでおられます。眼には見えないサトルエネルギーは、人間生活に素晴らしい影響を与えます。それは病からの劇的な回復であったり、ストレスから来る重度の心労からの解放であったりします。ですが、心の様子や作用が見えないだけに、説明次第ではいかがわしいものに思われてしまう危険性もあります。このために体の修繕である「治療」と、心の充電である「癒し」、この二つを分け、サトルエネルギーは「癒しのフィールド」にあるとして国内外でもその認識で、研究や諸活動が行なわれています。最近では医学の世界でも、悪くなった機械部品を交換するような、人間機械部品論ともいえる物質医学だけに頼って、その限界を感じた医師も、**命そのものを認識**される方が多くなって来たように感じます。

医療に限らず物質経済至上主義や精神不在の科学、そして競争・ひとり勝ちの意識が、地球破壊や様々な悲惨な社会を作ってきたのです。いま、見えないけれども感じたり、安らいだりすることが出来るサトルエネルギーを多くの方が学び始めたのです。それは同時に見えないところに真実があるという、心や霊性を中心にした社会転換への流れでもあります。すると「サトルエネルギーとは何か」をもう一步、明らかにしていく必要があります。この本の題名「サトルエネルギーのお話」の行き着くところは、多くの方の「**生命の輝き**」を増していくこと、それにつきます。

以上は『サトルエネルギーのお話』の本の内容より、サトルエネルギー学会事務局長、鈴木俊輔著 静岡学術出版。著者は1947年東京生まれ、科学技術系の会社社長。科学技術庁技術賞受賞など、発明特許は100件を超える。

また、鈴木事務局長は 病の内の9割は、心のひずみから発する。残りの一割は外因性である。だから「病」は心の危険信号である。細胞さんからの合図である。 **「大宇宙空間自体が生命体である」** 万物は共にいのちを持つ同胞であり、地球環境は共生である。人類は地球という体内の個々の細胞である。河川は血管であり、海は羊水である。とおっしゃっています。とりあえず健康には **心と体の浄化(デトックス)**と清浄な水・食物・空気・場、そして**つながり愛&感謝&調和**は外せませんね!

ゼロアップセンター アンビアン

豊中市向丘2 - 10 - 7 - 202

TEL 06 - 6854 - 8810

E-MAIL zero@anbian.jp

ホームページ <http://anbian.jp>